

タイトル

静体状態に応じて安否情報の送信優先度を制御する技術

技術分野

- 電機・電子
- 情報・通信
- 有機材料
- 金属材料
- 食品・バイオ
- 土木・建築
- 農林・畜水産
- その他()
- 機械・加工
- 化学・薬品
- 無機材料
- 輸送
- 生活・文化
- 繊維・紙
- 医療・介護

利用分野・適用製品

・スマートフォンに搭載する災害時の安否情報アプリ

情報メモ

詳細資料: 有 無
 サンプル: 有 無
 見学: 可 不可
 その他:

従来技術の課題・問題点

大規模災害時には、大量の携帯端末から発信された安否情報が安否確認システムのサーバに流れ込む中で、安否確認システムのオペレータは、大量の安否情報の中から災害救助の緊急度が高い被災者を一刻も早く発見しなければならないが、従来、オペレータにとって、大量の情報の中から災害救助の緊急度が高い安否情報を発見することは容易ではなかった。また、従来の安否情報アプリでは、携帯端末操作が困難な負傷者等には、緊急度が高いものの救助要請を発信することが難しいという課題があった。

本発明の効果・特長

災害時に負傷により動けない被災者ほど災害救助の緊急度が高いと考えられ、「静体状態」が継続しているユーザの安否情報のデータパケットほど、高い優先度で中継転送する(データトリアージ法)と共に、オペレータは、携帯端末ユーザの静体状態が継続していることを表わす高い優先度の安否情報から順に確認でき、被災位置から緊急に救助を要する動けない被災者を判別しやすくなるため、迅速かつ的確な救助活動が可能となる。

技術概要(構造・動作等)

大規模災害が発生し、ユーザの携帯端末からそのユーザの安否情報を発信する場合(図1)に、ユーザの携帯端末で測位された位置と、その位置を中心とした所定の位置範囲にユーザが所定時間継続して留まっている「静体状態」が検知された際に、そのユーザの安否情報の送信優先度を高く設定した優先度とをデータパケットに含め、ネットワークへの接続が確認され次第、安否確認システムのサーバに対して、優先度が高い安否情報のデータパケットから順に送信する(図2)。

図・特記事項・その他



図1: 携帯端末の表示画面

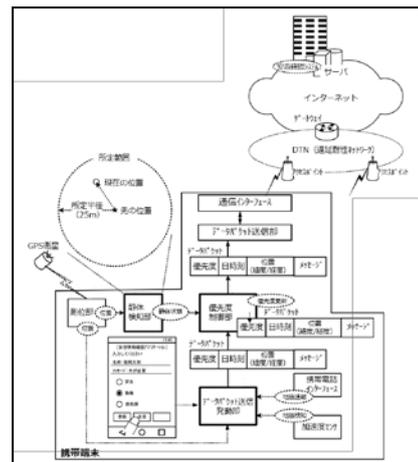


図2: 安否確認システム

主たる提供特許

登録番号:特許 6180008
 出願日:平成 29 年 3 月 29 日(2017 年)
 発明の名称:静体状態に応じてデータパケットの送信優先度を制御する携帯端末、システム及びプログラム
 権利者:学校法人福岡工業大学

関連特許番号

なし